

# 読賣新聞

2019年(平成31年)

4月23日火曜日 30面

## マンション 水害避難所に



協定を結んだ河社長(左)と朝川区長(大阪市住吉区で)

### 大阪市と開発会社協定

マンション開発を手がける「リバー産業」(本店・大阪市)と大阪市は、同社が住吉区で建設するマンションを水害時、周辺住民の一時避難場所とする協定を結んだ。区内で初めての取り組みという。

マンション近くを流れる大和川は、大雨で氾濫する可能性があるといい、水害の際は、同区山之内の地上20階(約60㍍)、104戸のマンションで3階以上の廊下に最大465人を受け入れる。建物内には、AED(自動体外式除細動器)や非常用トイレなども備えている。

河啓一社長は「住民の安心に貢献したい」と抱負を語り、朝川晋区長は「協力は心強い」と感謝した。